

平成29年第3回（9月）
粕屋町議会定例会

一般質問通告一覧表

通告順	議員氏名
1	田川正治
2	太田健策
3	井上正宏
4	木村優子
5	安藤和寿
6	中野敏郎
7	久我純治
8	末若憲治
9	福永善之
10	川口晃
11	鞭馬直澄
12	案浦兼敏
13	本田芳枝
14	小池弘基

通告順 NO. 1 質問者 10番 田川正治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>中央保育所と仲原保育所の老朽化した保育所の建て替えと民営化が6月議会の厚生常任委員会に提案されたが、保護者からは建て替え賛成、民営化反対の声が多数だが、町の今後の方針について</p>	<p>(1) 町立保育所を存続して建て替える場合と、民営化して建て替える場合の、1園3億円での建設費の場合、国の補助金や町が拠出する費用総額の比較について</p> <p>(2) 民営化した場合に現在働いている嘱託や臨時職員の給与や待遇について、町長は町が責任をもって賃金保証するとの説明だったが、雇用契約などで法的に実現できるのか</p> <p>(3) 障がいのある子どもの受け入れが民間では困難であり、町立保育所しか入所できない現実がある。民営化した場合には西保育所や民間保育所での受け入れは不可能ではないか</p> <p>(4) 町立での運営が西保育所だけになれば、現在の敷地内に給食室や障がい児を受け入れる保育室の増築などで駐車場が狭くなり、園庭での運動会や園の行事等ができなくなるのではないか</p> <p>(5) 6年前にも民営化反対の請願が町議会でも採択され、今議会にも保護者から同じような請願が提出されている。町長は町立保育所を存続させるためには、財政調整基金や減債基金など16億円のうち3億円を活用して、老朽化した保育所の建て替えと運営に責任を持ち、待機児童解消のために、民間の保育園を誘致すべきでないか</p> <p>(6) 町長をはじめ担当職員による説明会や、議会との意見交換会、そして保護者や保育士のアンケートでも、建て替えは賛成だが、民営化は反対が圧倒的な声でした。町長はこのような保護者や保育士、関係者の声を真摯に受け入れて町立で建替えて運営していくべきではないか</p>	<p>町長</p>
<p>給食センター建設における町長選挙後の12月に町長の決断により工事中断で生じた1億1千万円の遅延損害金の支払い残額と責任問題について</p>	<p>(1) 町長は6月議会において同僚議員の質問に対し、給食センターの工事中断による遅延損害金は、6月末で工事が完了しますので、全部が終わりましたら、しっかりと自らを律したいと考えますと答弁された。どのように律する立場をとられるのか</p> <p>(2) 町民の貴重な税金を遅延損害金に使うことに町民からは批判の声が出ている。この問題で遅延損害金が生じたときに議員経験者からは町長の責任問題が出され、現在でも町民の中では疑義が残っている。先日も町長の地元の人から、町長にも責任があるので賠償金を出させるべきだとの声もありました。町民に見えるような律し方を行うべきではないか</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 2 質問者 8番 太田 健 策

質問事項	質問の要旨	質問の相手
学校給食共同調理場建設の廃棄物違反疑惑について	<p>(1) ボーリング調査の結果、いずれの単位区画内において、GL-2m前後より廃棄物が確認されたと福岡県に報告されているが、実際との違いを質問します</p> <p>(2) 最終的に廃棄物の量は決まったのか また、契約はされたのか (株)西松建設、(株)九電工との廃棄物の数量と金額はいくらになったのか</p> <p>(3) 廃棄物処分費の支払いは終わったのか また、事前に最終処分場のマニフェストや写真などは確認されたのか</p>	町 長
遅延損害金について	<p>(1) ボーリング調査の結果、汚染物質は出ていないと結果が出ているのに、誤った情報はどこから入ったのか</p> <p>(2) 遅延損害金について、町の職員が請求するように言ったと言われるが、そういう文書は確認されたのか</p> <p>(3) SPCより出された請求内容を町側は専門家に依頼されたのか</p> <p>(4) 町は一時ストップで遅延損害金を請求されたが、SPC側の工期の延長の遅延損害金は発生しないのか</p>	町 長
旧給食センター解体撤去について	<p>(1) PFI導入可能性調査時に2,640万円だったのが、精査されて7,392万円に増額されている。資料には単体工事であり、削減は見込めないとされているが説明を求める</p> <p>(2) 平成26年9月24日に配布された資料と平成26年12月16日に配布された資料、どちらが本当なのか</p>	町 長
長者原踏切のアンダーパスについて	<p>(1) 長者原交差点より役場に行く道路をJR踏切の下を通るよう粕屋町民のために工事の計画をしてほしい</p> <p>(2) 長年の町民の思いを、思い切って町長には考えていただきたい。大変な問題ですが対処してほしい</p>	町 長

通告順 NO. 3 質問者 2番 井上正宏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
新しい町づくりについて	<p>6月12日(月)の議員全員協議会で因町長は、副町長選任同意の件で池田泰博氏を紹介された。因町長が、今後町から市に向けて市制施行の準備と職員のさらなるレベルアップを図りたいとこのことで粕屋町行政に頭脳を持ってきたいと力説されたので、その因町長の言葉で支持した。</p> <p>(1) 行政の目的と役割とは</p> <p>(2) 町長及び管理職の役目とは</p> <p>(3) 議員、職員の意識改革とは</p> <p>(4) 合併についてのメリット、デメリットとは</p> <p>(5) 地方自治の危機とは</p>	町長 池田副町長
子ども議会について	<p>子ども議会とは、子どもの代表者が議場の中で粕屋町行政職員に対して質疑をすることによって2年間行なわれてきた。しかし来年の子ども議会は、子どもの質疑を行政執行部からはしないと連絡を受けた。</p> <p>子ども議会は、他の市町村にはない取り組みで粕屋町独自の教育として私も興味を持って見守ってきた。</p> <p>(1) 平成29年1月28日(土)子ども議会アンケート調査集計の結果を踏まえて。</p>	町長 教育長

通告順 NO. 4 質問者 7番 木村優子

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>防災・消防力強化について</p>	<p>昨年起こった熊本地震から1年が過ぎ、そして、昨年12月の新潟県糸魚川市の大規模火災、本年7月に起こった九州北部豪雨。</p> <p>糸魚川の火災においては強風と家屋密集、狭い道路も重なり消火に手間取ったために延焼を食い止める事が出来なくなり、過去20年で最悪の様相を呈しました。</p> <p>粕屋町においても更なる消防力を向上させる必要があると考えます。</p> <p>昨年6月議会において、避難所や備蓄に関しても質問しましたが、その再質問を含めて、以下質問いたします。</p> <p>(1) 本年度新たに取り組もうとしている防災計画について、また防災に関する本年度の予算は</p> <p>(2) 高齢者や障がい者、妊婦等一般の避難所では生活に支障があり、特別な配慮を必要とする人を受け入れる二次避難所である福祉避難所について、その後の進捗状況は</p> <p>(3) ペット同伴での避難について、マニュアル作成及び住民への啓発をどのように考えるか</p> <p>(4) 女性視点の防災対策を含め、備蓄品に関することとして</p> <p>①避難所での着替えや授乳のための体育館テント導入は</p> <p>②アレルギー食の備蓄、エピペンの確保</p> <p>③液体ミルクの備蓄</p> <p>(5) 前回質問したスマートフォンなどで利用できる災害に対する無料アプリの検討はされたのか、またその結果について</p> <p>防災ハンドブックの作成について</p> <p>(6) 狭い地域での消防活動の現状と対応は</p> <p>(7) 初期消火の目的手段として地域に消火栓が設置されているが、高齢社会になり使いづらい。現在は身近な水道水を用いての簡易消火装置、簡易水道消火装置「街かど消火栓」が開発されている。</p> <p>「街かど消火栓」の設置を考えては</p> <p>(8) 消火器は、高齢者や子どもには重たい存在である。小さくて軽くて投げつけて、消化させる消火剤が開発されている。それらの啓発は行わないのか</p> <p>(9) 女性消防団員の現状と男女問わず団員募集の手立てや現状について、</p> <p>また、若い世代の消防団員加入促進として学生消防団員に奨学金を設けてはどうか</p>	<p>町長</p>

通告順 NO. 5 質問者 5番 安藤 和 寿

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>防災無線の戸別受信機設置について</p>	<p>(1) 平成29年7月5日～6日にかけて発生した九州北部豪雨災害を教訓とし粕屋町でいつ何時に起きるかわからない災害に対し発生した場合、被害を最小限に止める為のインフラ整備や防災意識の徹底を図ることが、自治体に課せられた責務であると考えますが、町長のお考えを問います</p> <p>(2) 現時点において、粕屋町として対応可能なシステムにおいて、緊急自動放送などの防災情報伝達のレベルの範囲及び現在の対応システムは十分で有るのか 今後の戦略的な整備計画について問います</p> <p>(3) 高齢者など外の放送が聞こえないから、防災無線の戸別受信機を求める町民の要望の声は多く聞かれますが、粕屋町に個別受信機の設置要綱はあるのか</p> <p>(4) 設置要綱が無いとすれば、特に粕屋町の浸水想定区域・土砂災害危険区域に戸別受信機設置に対する要綱を早急に制定する必要があると思いますが、お考えを問います</p>	<p>町 長</p> <p>総務部長</p>
<p>サンレイクかすやさくらホールについて</p>	<p>(1) 平成16年10月、粕屋町中央公民館閉館からサンレイクかすやが新しく開館し13年が経過しようとしています。当施設のさくらホール：560名収容は、当初どのようなターゲット層や活用方法を想定して設立されたのか また、現状の町民ニーズをどのように踏まえ、今後のあり方についてどのように考えておられるか、町長のお考えを問います</p> <p>(2) さくらホールの平成28年度決算での稼働率は何%ですか</p> <p>(3) さくらホールの自主事業も予算の関係で年々減少してきている。また、民間の利用も減少している。開館して13年が経過しても日々の維持管理に努力され綺麗に管理されています。もっと町民・民間に利用してもらえよう、使用料も現在は、時間単位での使用料金となっている。平日について、土・日・祝日、準備の為に借りる場合など・繁忙期・閑散期など使用料を見直す時期にきているのではないのでしょうか 稼働率を向上させることについて問います</p>	<p>教育長 町 長</p>

通告順 NO. 6 質問者 6番 中野敏郎

質問事項	質問の要旨	質問の相手
自然災害対策について	<p>7月の九州北部豪雨を受けて、</p> <p>(1) これまで町が強靱化対策を実行してきたこと</p> <p>(2) 新たに対策を講じようとしていること</p>	町長
池田副町長の施政・行動方針について	<p>7月からの池田副町長の就任による、新たなる施策への期待を込めて、</p> <p>(1) “ふるさと納税”に対する新たな考え、取り組みは</p> <p>(2) 総務省 地域おこし協力隊の受け入れ検討は</p> <p>(3) 現場主義としての新たなるプロジェクトの構想は</p>	池田副町長
粕屋町の人口動態から考えること	<p>町政の情報公開が声高に叫ばれる世相のなか、当町では丁寧な人口統計がホームページ上でもなされ、毎月更新されております。</p> <p>世間では“未来の年表”等に代表される著書等により、人口が減少する日本の未来を考察する情報が氾濫しております。よりの確な人口動態予測は、人口5万人で市制を目指す当町にとっても政治判断の根拠となる必要不可欠なもの。全ての政策は今後の人口動態を基に考えられていることでしょうが、その中で、いくつかを質問いたします。</p> <p>(1) 現在の粕屋町だけで将来人口5万人達成可能か</p> <p>(2) 幼・保・小・中学校等の新設は</p> <p>(3) 迫られる行政区の分区、公民館の増改築は</p> <p>(4) 2033年の空き家率は</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>町長</p>

通告順 NO. 7 質問者 13番 久我純治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
町立保育所の民営化に対する対応と考え方	<ul style="list-style-type: none"> (1) 待機児童対策に対する考え方 (2) 企業主導型保育制度の説明と現状は (3) 町有地の民営化に対する無償貸付について (4) 現在検討されている町立二園のほかに新たに民間保育所開設の考えはあるか 	町長
町の優先順位で計画とその対策について	町の優先順位で現在進めていること、又それに対する計画はあるのか 上記保育所に絡めて尋ねます	町長

通告順 NO. 8 質問者 1番 末 若 憲 治

質問事項	質問の要旨	質問の相手
大規模災害の対応について	<p>1. 災害への備えについて</p> <p>(1) 現在粕屋町では大規模災害発生時の対応マニュアルや計画は策定されているのか</p> <p>(2) 地域防災が進んでいるが、地域の方や消防団をはじめとする各種団体間との共同防災訓練等の実施はやはり「顔の見える関係」構築が必要ではないか</p> <p>(3) 九州北部豪雨の被害額は一説には1,400億と言うことだが、災害時には財政調整基金等を使う事になると思う。 粕屋町では現状十二分に確保出来ているか</p>	町 長
	<p>2. 他市町災害における支援体制について</p> <p>福岡県内外、特に福岡県の他地域での災害に対して粕屋町では何か支援の取組みをしているのか やはり、粕屋町として他地域での災害への応援を町単位で積極的に行うことで、教訓にもなるし、粕屋町で災害が起きた場合に、粕屋町の為ならと支援を頂けるのではないか</p>	町 長
	<p>3. 粕屋町で災害が起きた場合の受援体制について</p> <p>避難所運営マニュアルや災害ボランティアセンター運営等を含めた受援計画はあるか</p>	町 長

通告順 NO. 9 質問者 11番 福永善之

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>民間出身の副町長としての仕事は何か</p>	<p>先の6月議会で選任同意が可決され、7月1日より、民間出身の副町長として就任され、2か月が過ぎた。</p> <p>(1) 行政内部で改善が必要な所はあるか</p> <p>(2) 副町長として町長から期待される役目は何か</p> <p>(3) 副町長として自ら、やり遂げたいこと、を持たれているか</p> <p>(4) その他、『各種団体への補助金』『宿泊を伴う視察費用』『職員駐車場料金』等の事務事業評価に伴う予算計上に関して、見解を問う</p>	<p>池田副町長</p>

通告順 NO. 10 質問者 9番 川口 晃

質問事項	質問の要旨	質問の相手
中央保育所と仲原保育所の民営化および関連の問題について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 質の高い保育所を目指しての、町立保育所の役割について (2) 町立保育所建設に当たっての政府の財政措置と財源の問題 (3) 待機児童解消の進め方 (3) 正規職員及び非正規職員の待遇改善について 	町 長
「海水の淡水化センター」の施設と給水及び経営の問題について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 水道水に海淡水を利用している施設は全国で幾つあるかそしてその能力は、又、実際の供給量は (2) 収支差（海淡水収入－海水淡水化費用）はどうなっているか 累積額はいくらになっているか (3) 粕屋町は海淡水を毎年何キロリットル供給し、その費用はいくらか トン当たりの海淡水及び陸水の費用はいくらか (4) 海淡水施設事業費408億円の支払いのため、粕屋町が毎年出資している額はいくらか (5) 「海水淡水化センター」からの脱退か、この事業を直ちに廃止すること 	町 長
須恵川および支流の防災計画と景観について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 福岡県は須恵川の防災についてどのような計画を持っているのか (2) 須恵川の拡幅と川底を深くする事。それに伴う堤防の強化の問題 (3) 自在王井堰下流域の支流に防災のための分流堰を計画する事、並びに流出する汚泥物の問題 (4) 須恵川流水の浄化と景観の問題 	町 長
法人会社の軽減税率について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 法人が受ける事ができる34項目の軽減措置。具体的にはどういうものか (2) 本社が粕屋町以外にある法人の法人住民税（法人割）について 	町 長

通告順 NO. 11 質問者 4番 鞭馬直澄

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>高齢者の健康と活躍について (生涯現役社会の実現に向けて)</p>	<p>(1) 健康維持への具体的な取り組みについて (2) 活躍場所の拡大取り組みについて (3) 働き場所の拡大への取り組みについて</p>	<p>町長</p>
<p>駕与丁公園地域及び近隣町有地の利用計画について</p>	<p>(1) 旧ゴミ焼却炉の解体撤去について (2) 町有地の利用計画について (3) 土地開発公社所有地の利用計画について (4) この地域一体としての利用計画について</p>	<p>町長</p>
<p>新副町長の職務について</p>	<p>(1) 町政の現場と現状把握について (2) 課題と対策について (3) 意識改革・人材育成計画について</p>	<p>池田副町長</p>

通告順 NO. 12 質問者 3番 案 浦 兼 敏

質問事項	質問の要旨	質問の相手
子ども・子育て支援について	<p>子育て支援に対する町長の認識を問う。</p> <p>(1) 子ども・子育て支援法の基本理念、市町村の責務とは</p> <p>(2) 粕屋町子ども・子育て会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置の目的、委員の構成は ・開催状況、審議内容は <p>(3) 粕屋町子ども・子育て支援事業計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念、基本方針は ・重点的施策の進捗状況は <p>(4) 町長の公約である「福岡県で一番子育てしやすいまち」の具体的イメージと成果目標は</p> <p>(5) 福岡県の婚活事業に取り組む考えはないか</p>	町長
区画整理事業への支援について	<p>区画整理事業に対する町長の理解を問う。</p> <p>(1) 都市計画マスタープランにおける区画整理事業の役割は</p> <p>(2) 区画整理事業施行による粕屋町のメリットは</p> <p>(3) 酒殿駅南土地区画整理事業への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎等の整備について、町からJRへ協力要請はできないか ・事業区域内に保育所等の公共施設の整備は考えられないか ・粕屋町としての支援策は 	町長

通告順 NO. 13 質問者 14番 本田 芳 枝

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>就学前児童の子育て支援を総合的に</p>	<p>全国有数の出生率を誇る粕屋町の今後の子育て支援について町長の政策方針を問う。</p> <p>(1) 粕屋町に若い世代が多いことの要因の1つに、公立保育所、公立幼稚園、こども館、健康づくり課、子ども未来課の連携があると思うがどう考えられるか</p> <p>(2) 町立幼稚園の今後の在り方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2歳児保育 ・3年保育 <p>(3) 各小学校区に公立の児童施設がその中心にあり、私立も含めて保護者が選択できるということの重要性を訴えているが</p> <p>(4) 「子育て世代包括支援センター」と0～5歳までを保育している公立保育所の果たす役割、存在意義との関連</p> <p>(5) 公立保育所が地域の中で果たしている役割の再認識を。例えば子育て支援センター、投票所、福祉避難所としての役割など</p> <p>(6) 就学前児童の施設運営等の今後の在り方を、複数の専門家を交えて検討する委員会を立ち上げる必要があると思うが</p>	<p>町 長</p>
<p>町内巡回バスの予算執行状況を問う</p>	<p>平成29年度の当初予算に「町内巡回バスの利用動向調査を行い、利便性の向上と運行効率の検討を行う」として300万円組んでいるがその執行状況は。</p> <p>(1) アンケート調査の内容と今後の動向</p>	<p>都市政策部長</p>

通告順 NO. 14 質問者 12番 小池 弘 基

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>児童・生徒の通学路に対する安全対策について</p>	<p>(1) 志賀神社北側の幅 3m の通学路は、歩道もガードレールなどの安全設備も無く大変危険な道が約 500m ほど続いています。通学路改善の検討がなされたのかを尋ねます</p> <p>(2) 県道伊賀・仲原線と町道原町若宮線の交差点にある、「箱田重三氏記念碑」がありますが、狭い上に見通しが悪いため車両事故も多発しており、児童・生徒の通学路および歩行者も大変危険な状態ですが対策について尋ねます</p> <p>(3) 県道 607 号線の原町交差点は道幅が狭く、児童・生徒の通学路および歩行者も大変危険な状態ですが対策について尋ねます</p> <p>(4) この他にも危険な通学路がたくさんありますが、町道のインフラ整備の計画について尋ねます</p>	<p>町 長</p>
<p>粕屋町の道に付ける通り名について</p>	<p>(1) 篠崎久義町長時代に始まった通り名の整備事業が、因清範町長に代替わりしてから事業が中断していますが、この事業を継続する考えはあるのかを尋ねます</p>	<p>町 長</p>